Work rules : from age33
-Your Life Is In Your Hands!

人生はこの年代で決定する!?
33歳からの仕事のルール

新卒から10年目の節目を迎える33歳という年齢。この世代は、いまや男性だけでなく働く女性にとっても、その後の人生をどう生きるか決定する重要な"岐路"になりつつあります。あなたにはいま、"仕事"というステージにおいて未来のヴィジョンが見えていますか？

Photography : Amanaimages Illustration : Yoshimi Yonezawa Text : Mako Kobori

「仕事」をもつ女にとって、33歳からの人生とは……。

33歳。結婚や出産の有無など、仕事以外の要素も複雑に絡んでくるこの世代の女性にとって最も怖いこと。それは、人生における重大な"岐路"となるこの年代をなんとなく過ごしてしまい、40歳手前になって生き甲斐を見失ってしまうようなパターンではないでしょうか。幸せな40代を迎えるために、今私たちはどんな意識で仕事に取り組むべきなのか。今回は、小倉広氏の著書『33歳からの仕事のルール』を参考にその点を考えてみます。

teacher 小倉広先生

「33歳からの仕事のルール」小倉広・著／明日香出版社

リクルートの企画室、編集部を経て組織人事コンサルティング室課長へ。03年より株式会社フェイスホールディングス、株式会社フェイス総研　代表取締役社長としてコンサルティング会社3社を統括する。本書は、ベストセラーとなった著書「あたりまえだけどなかなかできない33歳からのルール」（共に明日香出版）の続編。

Part 1　33歳からの「意思決定」のルール

「決めるのは上司じゃない、君だ(33歳からの仕事のルール10)」。小倉氏がそう断言するように、OVER33からの仕事人生を謳歌できるかどうかは、「自分が意思決定する」という意識をいかに持てるかで決まる……といっても過言ではないでしょう。今までは、決断を人任せにしていたからイライラやグチが絶えなかったのです。自分が決める。自分が動かす。仕事の定義をそんな風に変えてみると、無駄なストレスが消えるのです。

UNDER 33 のありがちパターン

1 クオリティの高い完璧な仕事をすべく、有能なスタッフの意見をあれこれ取り入れていたら、だんだん収拾がつかなくなってドン詰まりに……。結果的に内容を盛り込みすぎて時間が間に合わず、中途ハンパなものが出来てしまうパターン。

2 仕事内容には100％満足していないけれど、今さら転職は面倒くさい。結婚にはもちろんあこがれているけれど、まだ相手が現れないので待ちの姿勢。いつかどうにかなると思いつつ、何となく将来が不安になってきたかも……というパターン。

3 比較的余裕がある時期にもかかわらず、"納品は半年後だから"という理由でミーティングを先延ばしに。しかし1カ月後にいざ打ち合わせしてみると、納品のための準備期間がまったく足らないことに気づき、焦ってしまうというパターン。

OVER 33 からはこう変える!!

意思決定の判断軸を先に決める

話を広げすぎて取捨選択に迷う……。その原因は「意思決定の判断軸が決まってないからだ」と小倉氏。重要な意思決定を頻繁に迫られるようになるOVER33にとって、答えを出すスピードはもはや死活問題。何を基準にするかという"判断軸"を各スタッフ間で共有させること。これが、OVER33に求められる最初の仕事なのです。

同じことをやり続けたままで、違う結果を得ようとするな

このパターンから抜け出せない女性が、近い将来に現状を変えられる可能性は低め。なぜなら小倉氏の言うように、「『同じことをやり続けたままで、違う結果を得ようとする』のは、間違っている」からです。33まで続けてきて上手くいかないことがあるなら、それは今すぐやり方を変えるべき。仕事でも恋愛でも同じことです。

保留するな、今すぐ決めろ

「意思決定は、1時間でも早く最短で行われなければならない」と小倉氏。なぜなら、早く決めれば決めるほど準備に時間をかけることができ、良い結果を出すことに繋がるからです。面倒だからと逃げずに、決められることはその場ですぐにジャッジをしていくこと。現場を動かす立場にあるOVER33にこのスピード感がなければ、仕事のクオリティにかかわるのです。

Part 2　33歳からの「コミュニケーション」のルール

point 1
聞いてから、話す

人は誰もが自分の話を誰かに聴いてほしい。同時に「人は自分が聴きたい話しか聴かない」でもあると小倉氏。この法則を生かしたのが、次のテクニックです。①まずは相手の話を聴く→②そこから、相手がどんな話を聴きたがっているかを探る→③相手の知りたい話題を絡めながら、ここで初めて自分の話を聞いてもらう。

point 2
「話す」倍「聴け」

「僕たちは「話す」ことが思いやりだ、と勘違いしている」。小倉氏のこの言葉にドキッとした人は、普段の会話の中で「聴く」倍「話し」ているのでは？相手は話に共感してほしいだけなのに、余計なアドバイスまでして鬱陶しく思われる……なんて悲劇もよくある話。人から信頼されるOVER33とは、常に"聞き上手"なのです。

point 3
相手は本当のことを言ってくれない

違う価値観を学ぶために、あえて苦手な人に教えを請う。自分の案が正しいかを考察するために、別の人の案の魅力も探る。仕事上よくあるこのような行動は、別に裏切りでも嘘偽りでもないのです。相手は本当のことを言ってくれない。ビジネスの世界ではそれが当たり前。だからこそ「聴く」ことが大事だと小倉氏は説きます。

point 4
伝わったことがコミュニケーション

気をつけろと再三伝えたのに、部下が失敗した。そんなとき人は話の受け手である"部下"に問題があると思いがちですが、実はそうとも限りません。「『伝えた』からコミュニケーションは完了、ではない。『伝わって』初めてコミュニケーションは完了する」と小倉氏。OVER33に求められるのは"伝わる"コミュニケーションです。

相手に強制や命令をしないで、心を動かす。

デキる女はいつでも「アサーティブ」

"アサーティブ"とは、中立的な自己主張という意味です。相手に対して指示や命令、強制をせず、自分の感情だけを中立的に伝えること。実はその中立的な自己主張こそが、相手の心にガツンと響く場合もあるのだそう。本当は相手の行動に迷惑しているのを伝えたい時、部下に態度を改善してほしい時などに、ぜひ使ってみて。

Part 3　33歳からの「夢とビジョン実現」のルール

アポイントのない重要事項で、人生が決まる

同じ多忙な人間でも、その時間を"本当にやりたいこと"に多く使える人と、そうでない人とでは人生における幸福度が違うはずです。こんなに働いているのにちっとも幸せになれない。そう感じているとしたら、あなたは人生の"重要事項"に時間をかけられず、"緊急事項"に人生を支配されているのかもしれません。

Think! あなたにとっての「重要事項」とは何か？

今後1週間の予定を、以下の4つに分類してあなたの現状をチェックして。①商談やクレーム対応といった、後回しにできない緊急かつ重要事項、②戦略立案や自己啓発といった、未来を豊かにするための重要事項、③突然の来客や呼び出しなど後回しにできないが重要ではない緊急事項、④ごろ寝やおしゃべりなど緊急でも重要でもない不要事項

Practice! 締め切りのない「重要事項」に日付を入れる

人生の幸福度を高めるポイントは、②番の"未来を豊かにするための重要事項"に多くの時間を使うこと。しかし小倉氏いわく、人はその重要事項ほど後回しにしてしまいがちなのだとか。本当に充実した人生を楽しめるビジネスマンは、締め切りのない重要事項にこそ日付を入れます。あくまで自分の楽しみや充足感を優先して仕事に取り組むのです。

Part 4　33歳からの「学習・自己啓発」のルール

小倉氏が説く、「正しい本の読み方」を身につけてみる

勉強のために、と本を買っても、時間がなくて読めなかったり、内容がイマイチで時間をムダにした気分になったり……ということはよくあるもの。書籍だけでなくネットでも情報が氾濫している現在、人生の助けとなる"より良い読書"をするにはテクニックが必要なのです。小倉氏の説く「正しい本の読み方」をぜひマスターして。

- 自分の体験に当てはめながら読む
- 本当にそうか？　と疑いながら読む
- なぜそうなるのか？という理由を自分なりに考えながら読む
- 書いてあることをチャート図に書き直し、相関関係をつかみながら読む
- 著者がいいたいメッセージは何か？と言葉の裏を考えながら読む
- 違うな、と思ったら、自分だったらどう書くか？を考えながら読む
- 覚えておいたほうがいい言葉を手帳にメモしながら読む
- 明日から実行するならば、何をすべきかを考えながら読む
- これは彼に教えてあげよう、と教えることをイメージしながら読む
- まずはその分野の全体俯瞰図をつかめる本から読み始める
- まずはその分野の大家、グルと呼ばれる人の本から順番に読む
- 次に興味のある分野にフォーカスを当てて、同様に体系をつかめるような本から読む
- 最後に、特定の企業本や経営者本などの事例本を読む
- 事例本を読む時は、頭の中に地図を描き、地図に事例を貼りつけながら読む
- 目次を読み、頭に全体図を置きながら本文を読む
- この人は、という著者の作品を追いかけながら読む
- こりゃだめだ、と思ったら途中で読むのをやめるつもりで読む
- この本は素晴らしい、と思ったら、200ページ以上の内容をA4・5枚分のレポートで箇条書きとチャート図にまとめながら読む
- 古書店に売るか、貴重な場所代を払ってまで自宅で保管するかを考えながら読む

（『33歳からの仕事のルール』228～229ページより抜粋）